

西日暮里一丁目まちづくり構想素案に関する  
パブリックコメントの実施結果について

1 募集期間

平成28年12月12日(月)から12月26日(月)まで(15日間)

2 対象者

- (1) 区内在住、在勤又は在学の方
- (2) 区内に事務所、事業所を有する個人及び団体
- (3) 西日暮里一丁目まちづくり構想により影響を受ける個人及び団体

3 実施方法

平成28年12月11日発行の区報で本パブリックコメントを周知したほか、素案を区ホームページに掲載するとともに、防災街づくり推進課及び情報提供コーナーにおいて閲覧に供しました。

4 意見提出数

提出者：8名、意見数：11件

5 意見の概要及び区の考え方

：記載済み、      ：参考として受けとめる

	意見の概要	区の考え方
1	<p>本構想は、交通利便性の良さを配慮してあらゆる角度から検討されており、地域の再構築につながると思う。</p> <p>老若男女が集える場、みどり豊かなまちづくり、地域の防災性の向上は、区民にとって大変嬉しいことである。</p> <p>人が集まり、ますます栄える地域になることを願っている。</p>	<p>本構想は、「災害に強く、安全・安心でにぎわいのあるまちづくり」を目的としております。</p> <p>対象区域は、再開発検討区域や商店街、木造住宅密集地域など、性格の異なるゾーンがあるため、様々な角度から上位計画及び地区現況を整理し、それぞれのゾーンごとにまちづくりの基本方針をお示しいたしました。</p> <p>頂戴した御意見のとおり、対象区域は交通利便性が良い一方、駅前の魅力やにぎわいの不足、地域の防災性への不安等の課題がございます。</p> <p>御期待にこたえるよう、本構想を活用し、上記の目的達成に向けて一層取り組んでまいりますので、今後とも御支援と御協力をお願いいたします。</p>

	意見の概要	区の考え方	
2	<p>まちづくりを行う際に他地区へ移転することは、この地域に慣れ親しんでいる住民にとって耐え難い。</p> <p>行政代執行でもしない限り、整備を進めることは困難でないか。</p>	<p>安全・安心のまちづくりを推進するためには、建替えや道路の整備等に伴う住居移転が必要になることがございます。</p> <p>区といたしましても、地域に慣れ親しんでいる住民の皆様のコミュニティは、まちづくりを行う上での重要なポイントと考えており、本構想では、まちづくりの方針として「地域コミュニティが息づく活気と安全・安心のまちづくり」を掲げることといたしました。</p> <p>また、建替えや道路の整備等は、住民の皆様に大きな影響を及ぼすことがございます。</p> <p>防災まちづくり事業を進めている地域では、これまで強制力をもって行うのではなく、防災まちづくり協議会や町会での説明、各戸訪問の実施、住まいの相談会の開催等により、防災意識の啓発・醸成に努めてまいりました。</p> <p>引き続き、住民の皆様の御理解と御協力をいただきながら丁寧に進めてまいります。</p>	
3	<p>まちづくりを行う上で、原資をいかに調達するかが課題と思う。</p>	<p>頂戴した御意見のとおり、まちづくりを行う際には、整備に係る工事費や権利者への補償費など、多くの資金が必要になります。このため、区では、国や東京都の補助金を活用しながら、建替えや道路の整備等を実施しております。</p> <p>また、再開発事業は、補助金に加え、保留床(新たに生み出される床)を売却することにより、事業収支を図っております。</p> <p>今後は、対象区域における事業手法の検討を進め、より良いまちづくりを目指してまいります。</p>	
4	<p>既存の商業事業者について、三河島駅前北地区の再開発区域で「なりわい」ができるのであればメリットは大きいと思う。</p>	<p>これまで区では、荒川区都市計画マスタープランに基づく「再開発によるにぎわいのある街づくり」に向け、地権者の各戸訪問や説明会を実施するとともに、準備組合との調整を重ねてまいりました。</p> <p>頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、準備組合と共に皆様に喜ばれる再開発事業を計画してまいります。</p>	

：記載済み、 ：参考として受けとめる

	意見の概要	区の考え方
5	<p>新たな体育館は、コミュニティーの場や災害時の避難場所になるのであれば大いに賛成である。</p> <p>上記に加え、病院や介護・福祉施設を常設するとともに、備蓄物も収納できる複合施設を望む。</p>	<p>区では、三河島駅前北地区の再開発事業において、コミュニティーの場や災害時の避難場所としても利用できる新たな体育館のほか、備蓄倉庫等の整備を検討しております。</p> <p>病院や介護・福祉施設は、周辺区を含む広いエリアでの需給動向を見極めながら、再開発の商業・業務施設の中で検討してまいります。</p>
6	<p>旧真土小学校跡地の有効活用にあたり、病院を含む高齢者向け施設の設置を希望する。</p>	<p>区では、旧真土小学校跡地の有効活用にあたり、説明会の開催や庁内での調整を重ねてまいりました。</p> <p>三河島駅前北地区の再開発事業で需要が増加する高齢者施設は、民間活力の活用等を考えておりますが、病院につきましては、今後、再開発事業の商業・業務施設の中で検討してまいります。</p>
7	<p>旧真土小学校跡地を活用して荒川区自治総合研究所や荒川区社会福祉協議会、あさがお福祉作業所、多文化共生センター等を整備し、弱者にやさしい幸せな街にしてほしい。</p>	<p>既存の区立スポーツ施設（体育館）は東西（南千住地域と西尾久地域）に整備していることから、区を中心部近くに位置する三河島駅は体育館の配置バランスとして適切であり、本地域で新たな体育館の整備を検討することといたしました。</p> <p>荒川区自治総合研究所と荒川区社会福祉協議会は既に整備・運営しております。また、あさがお福祉作業所と多文化共生センターはそれぞれ一時仮移転の後、尾久図書館に移転する予定でございます。</p> <p>引き続き、区民の皆様が幸せを実感できる街を目指してまいりますので、今後とも御支援と御協力をお願いいたします。</p>
8	<p>体育館を整備することであるが、区内には大人数が入るような貸室が少ないため、競争性がなく質がいまひとつだと感じている。</p>	<p>区の施設計画は、区全体の状況を踏まえながら別途検討しております。</p> <p>なお、新たな体育館は、体育機能以外の用途として、各種イベントや地域の交流会等の開催も可能となるよう会議室やコミュニティースペースの整備を検討いたします。</p> <p>頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、区民の皆様にご喜ばれる施設計画を検討してまいります。</p>

：記載済み、 ：参考として受けとめる

	意見の概要	区の考え方
9	<p>プラネタリウム、ボルダリング、スタジオ、巨大遊具等があれば、地域コミュニティの活性化が図られるのではないかと。</p> <p>また、建築デザインに関して、壁面ガラスや大きなテント、デッキテラスを設けるとともに、カフェやショップを併設し駅と直結させることで、人の流れが変わり、活気あふれる「街」に生まれ変わるのではないかと。</p>	<p>区では、三河島駅前北地区の再開発事業で整備する公共・公益施設として、地域の交流も図れる新たな体育館や防災関連機能、図書サービス関連機能を持った施設を検討しておりますが、商業・業務施設は現在未定でございます。</p> <p>再開発事業は事業収支を考慮する必要がありますが、頂戴した御意見の趣旨を踏まえ、駅前にふさわしい魅力的な施設を検討してまいりますので、今後とも御理解をお願いいたします。</p>
10	<p>本構想の目標年次は15年とのことであるが、自然災害は時を選ばないため、早急に進めるべきではないかと。</p>	<p>ハード対策は、建替えや道路の整備、再開発事業など、対策の実施や効果の発現までに長期間を要するものがございますが、ソフト対策を適切に組み合わせながら、可能な限り早急に「災害に強く、安全・安心でにぎわいのあるまちづくり」の実現を目指してまいります。</p>
11	<p>下町らしさや地域コミュニティと、新たな都市計画は一致しないことが多い。（例えば、道路の整備を行うことで地域コミュニティが壊れやすくなるなど）</p> <p>その際は、防災面を強く押出すことが肝要である。</p>	<p>頂戴した御意見のとおり、災害に強いまちをつくるためには、道路の整備等が必要となる一方、下町らしさや地域コミュニティを守ることも区の重要な課題でございます。</p> <p>区では、ハード対策に加え、町会・自治会と連携を図りながら防災訓練等のソフト対策を実施しており、本構想においても、住居ゾーンを中心に「ハード対策とソフト対策による防災まちづくりの推進」を図ることとしております。</p> <p>引き続き、区の強みである地域コミュニティを生かしたまちづくりを推進してまいります。</p>